

---

# 淡水魚は夢をみる

宇野直人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

淡水魚は夢をみる

### 【Nコード】

N2253R

### 【作者名】

宇野直人

### 【あらすじ】

みじかいよ。ゆるくかいたよ

ふわふわとお月様が浮かぶ夜のこと。川に住む淡水魚が海に憧れていました。

「海に住んでみたいなあ」

そうつぶやくと、仲間が、

「ばっかじゃねーの」

ぴちやりと跳ねて答えます。

「あんな塩が溶けた水たまりの中なんかにいたら頭がおかしくなっちゃまうぜ」

仲間はおかしな奴でも見るようにギョロギョロと目を動かします。

「でもすつごく広いらしいよ？　こんな川よりもすんごく広くって、青いんだって」

「そんな幻想見てばかりいてどうすんだ。他にも噂ではすごい魔物がいっぱいいるって話だ。熊や人間なんかよりも恐ろしい魔物だそ。海の中には光が届かなくて真っ暗闇なんだぞ。お天道様やお月様はみられないんだぞ」

不安を煽るように早口に話します。

「それでも、行ってみたなあ」

僕は笑って答えます。

「なんだか、冒険のにおいがするんだ」

僕はそっくり、夜の冷たい水の中を駆け出しました。透き通った水の中はお月様の光が満ち溢れ、河口まで一気に突き抜けるのでした。

(後書き)

まっとうな人の書くはず

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2253r/>

---

淡水魚は夢をみる

2011年10月8日13時19分発行